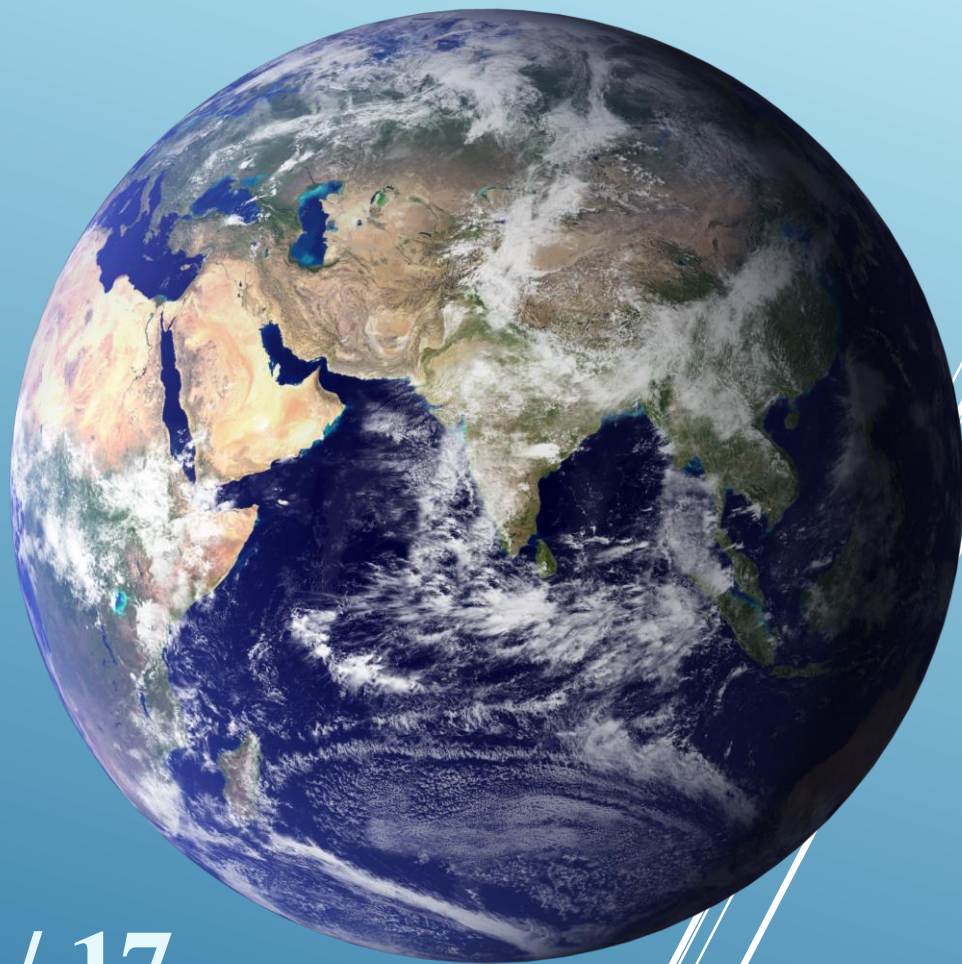


名古屋大学・岐阜大学連携ワークショップ

# 東海地域から発信する Future Earth



日

6 / 17 (月)

時

13:00 – 17:00

場

名古屋国際センター 5F

所

第1会議室

名古屋駅より桜通りを徒歩7分  
名古屋市中村区那古野1丁目47番1号

お問合せ：名古屋大学  
フューチャー・アース研究センター  
竹中千里 chisato@agr.nagoya-u.ac.jp

主催：名古屋大学フューチャー・アース研究センター

共催：岐阜大学 応用生物科学部、地域協学センター、名古屋大学 環境学研究科、生命農学研究科

後援：国連地域開発センター 開催助成：公益財団法人大幸財団

## 主旨

フューチャー・アース（以下、FE）とは、地球環境問題の解決には、研究者のみならず、行政や一般市民（ステークホルダー）まで関与する「超学際」研究が必要であるという国際的な概念です。本ワークショップは、東海地域の地球環境研究に関わる研究者が集まり、FE研究に関する情報交換を行うことによって、東海地域が日本におけるFE研究を牽引する存在になることを目的としています。FE研究には、研究分野や組織を超えた連携が不可欠です。そのためには、FEの概念を理解し、先行するFE研究の事例を知り、異分野の研究者との交流により新しいFE研究の創出を促す場が重要です。本ワークショップでは、東海国立大学機構の設立が予定されている名古屋大学と岐阜大学が中心となり、新たなFE研究を推進することを目指します。

## プログラム

13:00~13:10

### — 主催者挨拶 —

高橋雅英（名古屋大学研究担当理事・  
フューチャー・アース研究センター長）

### — 趣旨説明 —

竹中千里（名古屋大学フューチャー・アース研究センター）

13:10~13:50

### — 基調講演 —

フューチャー・アースにおける地域発の研究の意義  
大西有子（総合地球環境学研究所）

13:50~16:30

### — FE研究紹介 —

様々な森里川海のつながりとフューチャー・アース研究  
大西健夫（岐阜大学応用生物科学部）

愛知目標・SDGsの指標の功罪 -生物多様性条約の議論を中心に -  
香坂 玲（名古屋大学環境学研究科）

森林管理における行政と研究との関わり  
山本一清（名古屋大学大学院生命農学研究科）

SDGs水課題とフューチャー・アースの可能性 -ラオスの事例 -  
乃田啓吾（岐阜大学応用生物科学部）

開発と災害脆弱性  
高橋 誠（名古屋大学大学院環境学研究科）

持続可能社会のリアル  
-気候変動による災害リスク増大と少子高齢人口減少社会 -  
小山真紀（岐阜大学流域圏科学研究センター）

16:30~16:55

### — 総合討論 —

司会 大西健夫  
コメンテーター 安成哲三（総合地球環境学研究所）

16:55~17:00

閉会挨拶 野々村修一（岐阜大学学術研究担当理事）